

2023年度新社会人入職研修が行われました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



4月24日、本年度に入職した新社会人に向けて入職研修を行いました。働く上での規律や医療者としての振る舞いについてのオリエンテーションを行ったほか、私からも健育会グループの一員になるための心構えをお話ししました。

健育会グループでは、毎年4月の終盤に新社会人入職研修を行なっています。これは新社会人の皆さんに各病院施設で数週間働いてもらった上で、入職研修にて勤務を振り返りながら「いまできていること」「これから学ぶべきこと」を知ってもらうためです。



4月24日に開催となった本年度の入職研修では、全国各地から会場となった神保町の日本教育会館に136名の新社会人が集まりました。



はじめに人材育成のプロであるビーフォーシーの相部博子先生がオリエンテーションを実施。4人グループになってディスカッションを交えながら、コミュニケーション力をはじめとした人間力の重要性、医療者の自覚と誇り、学生から社会人になる上で転換すべき意識変化などのテーマについて理解を深めてもらいました。

午後は私から新社会人の皆さんに向け、健育会グループで働く上での心構えについてお話ししました。



今日は社会人としての心得を3つほどお話しします。

1つ目は、「社会人としての責任」を持つこと。社会人になると、学生時代とは違って自分で責任を取らなくてはなりません。しかも医療や介護は人の命に関わる仕事ですから、その責任は大変重いものです。とはいえ社会人になったばかりの皆さんが1人で責任を取ることはまだ難しいでしょう。

ですから、わからないことに対して決していい加減に対応しないでください。利用者さんに聞かれたことがわからなかったり、怒られたりしても、「お待ちください」と言って上司に確認をしてから答えること。パニックになっていい加減なことを言えば、利用者さんの命に関わります。怒られることは恥ではなく、皆さんの肥やしになってくれるはずですから、これから数ヶ月間はたくさん怒られてください。

2つ目は、「チームワーク」の大切さ。私は、質の高い病院や介護施設というのはチームワークが確立され、スタッフ1人1人がやることを理解し、その情報をきちんと共有できているものだと考えています。健育会グループでもone team、our teamというスローガンを掲げてチームワークを重視しています。新人の皆さんは、チームワークを壊さないことを心がけてください。

そのためには、規則をしっかり勉強して守ること。健育会グループには、たくさん研修があります。朝から晩までやるべきことをこなすのが大変なのに、その上研修を受けなくてはいけないのはなぜ?と思うかもしれませんが、しかし規律正しく心の豊かな人材に育てるためにとても大切なことだと覚えておいてください。



3つ目は、仕事に対する「使命感」。皆さんの中には「人の命を救いたい」という使命感を持っている人と、そうでない人がいると思います。私は親が医者だったため、あまり深く考えないまま医者になりました。しかし大学病院で8年間たくさん研修を受け、勉強を重ねたことで、自分なりの医療への想いを育てることができました。

使命感は、毎日同じ仕事をしているだけでは育ちません。研修を受け、自分がやるべきことを知り、それが上司に評価され、仕事にやりがいを持って使命感を追っていく。これが私の実践してきたことです。皆さんも、ぜひついてきてください。

その後は2グループに分かれて7階と9階の会議室へ移動し、社会人としての基礎、組織人に必要な5つの意識、仕事の進め方についての研修を行いました。



半年後、皆さんが仕事に慣れ、業務の中で自分の責任を全うできるようになった時、健育会グループがどういう病院なのか、何を大切にしているかを改めてお話しします。ぜひ、頑張ってください。6ヶ月後またお会いしましょう。